

Advanced Valuable Communication

(高度で有用性の高いコミュニケーション)
の社会実装

お詫び

Society 5.0 (デジタル社会)

Society 5.0 デジタル社会

21世紀前半～



第4次産業革命

DX (デジタルトランスフォーメーション)
AI IoT ブロックチェーン

Society 5.0とは、
デジタル空間とリアル空間を
高度に融合させたシステムにより
経済発展と社会的課題の
解決を両立する、
人間中心の社会(Society)



IoP (internet of persons)
AIフレンドリー社会

人間中心のAI社会

AIは判断を助ける道具であり、何を大切にするかを決めるのは人間です。また、過去のデータだけで「あなたには無理だ」「あなたはこういう人だ」と判断される社会は、人間中心とは言えません。

人には、失敗しても学び直す力があり、予想を超えて変わる可能性があります。その余地を守る必要があります。

さらに、AIを使う人が責任だけを押しつけられてはいけません。人間が本当に判断できるように、十分な情報、時間、学び、権限が必要です。

つまり、人間中心のAI社会とは、AIを便利に使いながらも、人間の自由、尊厳、責任、思いやりを守る社会です。

AIに合わせて人間が小さくなるのではなく、AIによって人間の考える力と生きる力を広げていく社会です。

Society 5.0:本当に人間中心の社会なのか？

最大の課題は、「**デジタルデバイド**」です。

行政手続き、医療、防災、買い物、交通、教育、仕事など、生活の多くがデジタル化されていきます。

デジタルを使えないことは、社会サービスから遠ざかることにつながります。

高齢者だけではありません、障がいのある方、日本語を母国語としない外国人、経済的に厳しい環境にある方、学びの機会が少ない方等、さまざまな人が、

デジタル社会の入口で立ち止まっている可能性があります。

「令和」の意味

外務省は「令和」の意味を” Beautiful Harmony”つまり、「美しい調和」と海外に説明しました。

大切なのは、みんなが同じになることが調和ではないことです。

一人ひとり違う人が、違いを持ったまま、お互いを尊重して生きる、それが「美しい調和」です。

デジタル・AIを駆使する人だけが幸せになるのではなく、高齢者も、子どもも、外国人も、障がいのある人も、デジタルが不得手な人も、それぞれが安心して暮らせる社会をつくる。

「令和」の意味にふさわしいデジタル社会を目指したいものです。

消防 (R4~R7 設計 & 設計監理)

東京消防庁 消防救急デジタル無線(共通系)更新

特別区と多摩地区にあるセンター設備(無線回線制御装置)および都内数か所にある基地局の無線装置や電源装置等を更新



多忙な消防庁職員の代替: 据付・調整作業を立会検査、全設備を設計監理